

環境配慮検討書

文書番号第 658号
平成18年9月21日

三重県環境調整システム推進会議 部会長 様

熊野農林商工環境事務所長

三重県環境調整システム推進要綱第4条の規定に基づき提出します。

対象事業の名称	県営中山間地域総合整備事業 ほ場整理 浅里団地
担当室又は課所名	熊野農林商工環境事務所農村基盤室

1 事業の計画の名称、目的及び内容

(1)名称	県営中山間地域総合整備事業紀南地区 ほ場整備 浅里団地		
(2)目的	現況のほ場は一区画の面積が狭小で、営農に多くの労力を要しているため、ほ場整備により、区画の整形・道水路の整備を行うことにより、優良農地を確保し、農作業受委託を推進し、農業経営の安定化を図り、地域農業の活性化を推進する。		
(3)事業主体	三重県		
(4)計画内容	①計画地の位置 ※位置図を添付すること		南牟婁郡紀宝町浅里地内 受益面積 3.0ha (別図1 位置図参照)
	②建物・施設等の概要 (用途、規模、面積、配置等) ※配置図を添付すること		用水路 L=0.84km (別図2 用水路線図参照) ベンチリウム250~300型、VUφ250 排水路 L=0.62km (別図3 排水路線図参照) 有孔リウム400*400~600*400、U-300B 標準区画 50m*40m=20a区画 (別図4 計画平面図参照)
	③用水の使用計画		現況溪流取水部より、計画ほ場までの既設水路を利用し計画ほ場へ送水する。(別図2 用水路線図参照)
	④エネルギーの使用計画		使用計画なし
	⑤雨水、汚水の排水計画		雨水：地区内排水路を経て、熊野川水系河川に自然排水する。 汚水：汚水の発生なし
	⑥道路・交通計画		計画地区は、一般県道小船紀宝線に隣接している。
	⑦工期	ア)着工の予定時期 イ)完工及び供用開始の予定時期	・着工：平成18年12月頃予定 ・完工：平成20年 3月頃予定 ・供用：平成20年 4月頃予定
(5)関連事業計画	関連事業なし		
(6)その他			

2 計画地の社会的条件の現況等

(1)計画地の社会的条件の現況	①交通の現況	計画地区周辺の主要道路として、一般県道小船紀宝線があり、紀宝町市街地への主たる交通路となっている。
	②土地利用の現況	計画地区の現況土地利用は、水田・畑の農地である。 (別図6 現況土地利用図参照)
	③水域利用の現況	計画地区は、熊野川水系の準用河川に展開する農地であり、改修を予定している水路については、用排兼用の水路である。 (別図6 現況土地利用図、別図4 計画平面図参照)
	④生活関連施設の現況	計画地区周辺の上水道は完備されており、下水道の整備については、計画はない。また、ごみについては、御浜町内の広域ごみ焼却施設にて焼却している。 計画地区周辺に学校・医療施設は立地していない。
(2)関係法令等による地域の指定・規制状況	①自然環境保全地域等の指定状況	自然環境保全地域（地区）、自然公園地域（区域）、鳥獣保護区の指定状況 計画地区周辺には、自然環境保全地域に指定されている地域はないが、計画地区は、吉野熊野国立公園（普通地域）内である。また、計画地区に近接して、紀宝町浅里鳥獣保護区がある。
	②土地利用規制の現況	都市計画法、農業地域振興法、森林法等の規制状況 計画地区は、土地計画法・森林法に指定されている地域はないが、農業地域振興法の農業振興地域・農用地区域に指定されている。 (別図5 土地利用計画図参照)

3 計画地の自然的条件の現況

(1)地形・地質	文献調査	文献名	土地分類基本調査図 (地形分類図・表層地層図・土壌図)	
	現地調査の有無	有・無 (実施日時)	聴取調査の有無	有・無
	調査結果等	標高20m程度の低位段丘であり、地質は、第四紀中・低位段丘堆積物で礫を主とする堆積物であり、土壌は、中粗粒灰色低地土壌・灰褐色系である。		
(2)水象	文献調査	文献名	平成17年度環境白書 (三重県)	
	現地調査の有無	有・無 (実施日時)	聴取調査の有無	有・無
	調査結果等 ①河川、湖沼	計画地下流の熊野川熊野大橋地点での水質は下記のとおりである。 PH・・・7.3 DO・・・9.7 BOD・・・0.6 SS・・・3 大腸菌群数・・・4.9E+02		
	②海域			
(3)気象・大気質等	調査の方法	津気象台尾鷲測候所データ (1971～2000) 平成17年度環境白書 (三重県) (熊野市データ)		
	調査結果	気温：平均気温 15.9℃ 降水量：年降水量 3,922.4mm 最多風向：東 風速：平均風速 2.2m/s 大気質：二酸化硫黄0.004ppm(年平均)、二酸化窒素0.003ppm(年平均) 一酸化窒素0.001ppm(年平均)、窒素酸化物0.004ppm(年平均) 光化学オゾン0.045ppm(昼間の日最高1時間の平均) メタン1.84ppmC(年平均)、全炭化水素1.87ppmC(年平均) 浮遊粒子状物質0.021mg/m3(年平均) オゾン類0.010pg-TEQ/m3(年平均) 水質：水象①河川、湖沼欄参照 騒音：58LAeq (dB) (等価騒音レベル(昼)) 振動：-		
(4)生態系等	文献調査	文献名	自然環境保全基礎調査 (現存植生図・三重県動植物分布図) 三重県レッドデータブック2005	
	現地調査の有無	有・無 (実施日時H18.9～10予定)	聴取調査の有無	有・無
	調査結果等 ①植物	植生の概要：計画地区は、植林地・耕作地植生・水田雑草群落である。 貴重な植物個体：紀宝町の水田地帯に分布する希少な種として、オボシテ 、マルバノサトウガサ、スズメコバ、クロホシクサ、ヒメシロハギ、ミズマ ツバの記載が見られる。 貴重な植物群落：計画地区に貴重な植物群落は分布していない。		
②動物	動物相の概要：計画地区周辺には、コホシサル、キツネ、タヌキ、イノシシの生息分布 が確認される。 貴重な動物：紀宝町に分布する希少な種として、ヤマトリノ記載が見られる。			

(5)自然景 観・文化 財等	文献調査	文献名	自然環境保全調査 (三重県自然環境情報図) 平成17年度実施予定三重県公共事業にかかる埋蔵文化 財協議一覧表	
	現地調査の有無	有 ・ 無 (実施日時)	聴取調査の有無	有 ・ 無
	調査結果等 ①自然景観	<p>自然景観の概要：計画地区周辺の景観は、田園及び急峻な山岳地を中心とする自然的要素が大きい景観である。</p> <p>貴重な自然景観：計画地区に近接して、飛雪の滝がある。</p>		
	②文化財、史 跡、名勝等	<p>史跡・名勝・天然記念物：計画地区に指定されているものはない。</p> <p>埋蔵文化財包蔵地：計画地区に指定されているものはない。</p>		
	③野外レクリエー ション 他	計画地区周辺に立地していない。		
(8)その他、 自然災害 等				

4-2 事業計画の検討内容（複数案比較が実施できない場合）

複数案比較が実施できない理由	本計画地区は、ほ場整備を行い優良農地を確保し、農業経営の安定化と地域農業の活性化を推進する目的に対して、受益者の同意がまとまった団地を選定して、計画しているため、当該計画地以外に他の案はない。
----------------	--

※環境配慮事項ごとに、環境配慮度を◎○ーで記入し、その配慮の内容及び配慮度の評価の理由を記入すること。

環境配慮技術指針の配慮目標 ①循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築 ②人と自然が共にある環境の保全 ③やすらぎとおいのある快適な環境の創造	環境配慮度 ◎：十分配慮している。 ○：配慮している。 ー：特に配慮する必要がない。
---	--

技術指針に基づく環境配慮事項	環境配慮度	環境配慮の内容 (-の場合は、無記入でも可)	配慮度の評価の理由
①-1 地球温暖化防止	◎	工事に際して、排出ガス対策型建設機械を使用する。	排出ガス対策
①-2 廃棄物対策	◎	計画地区より発生するコンクリート・アスファルト廃材については、リサイクル施設へ搬入し、再資源化する。	リサイクル対策
①-3 生活環境の保全	◎	工事に際して、低騒音・低振動型機械の使用に努める。	周辺環境対策
①-4 その他重点事項			
②-1 野生生物等の生育空間の確保	◎	現況農地であるものを、農地として整備する。	農地を農地として復元する
②-2 希少な野生生物の保護	◎	工事に際して、希少な植物が確認された場合、移植等の保護を行う。	希少生物保護対策
②-3 地形、地質等の改変の抑止	◎	土量バランスを考え、地区外に残土の搬出を行わないよう考慮する。	土砂搬出時の地区外への土砂流出が軽減される
②-4 その他重点事項			
③-1 緑化、周辺景観との調和	ー		
③-2 親水等、ふれあい空間づくり	ー		
③-3 その他重点事項			
④上記以外の特記事項			

5-2 事業計画案の環境配慮に係る評価

従来の事業等と比較して優れている点	
今後の課題	
会議での調整を要する事柄	